

松本歯科大学衛生学院  
2019年度 学校関係者評価報告書

松本歯科大学衛生学院学校関係者評価委員会は、2018年度の自己点検・評価結果を基に、学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

2019年7月  
松本歯科大学衛生学院  
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員会

①学外委員（評価委員）

- ・山田一尋 関連業界関係者
- ・中島靖子 卒業生

②学内委員（事務局）

- ・笠原悦男 学院長
- ・原 聖司 衛生学院事務室
- ・上條由美 衛生学院事務室

2. 基準項目ごとの学校関係者の評価・意見

評価項目	評価委員の評価・意見
1. 教育課程の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・教育目標、カリキュラムについて、的確に編成されており、問題ない。</li><li>・講義科目、時間配分、シラバスについて、的確に構成されており、問題ない。</li><li>・教育目標、カリキュラムについて、ホームページにシラバスを掲載し、適切に広く周知されている。</li></ul>
2. 教育・指導等の状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・講義の視覚教材、補助教材は工夫されている。</li><li>・自主学習も体制が整い、個別指導、習熟度別指導も適切に行われている。</li><li>・教材の検証も学生アンケートを用いて行っている。</li><li>・成績の判定も、学則の規定で行っており、問題ない。</li><li>・学生の進級状況は、2018年度6人の退学者が出ているが、進路変更などの理由によるもので、退学者の数は増加していない。</li><li>・国家試験の合格率は、全卒業生100%で、非常に優れている。</li><li>・国家試験合格率100%維持し、適切な指導を行っている」と評価できる。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生数に対して専任教員は4名であり、個別指導等できめ細かな指導をしていく上での教員の負担は大きいと思われる。</li> </ul>
3. 臨床実習の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習評価表に基づき、適切に臨床実習が評価されている。</li> <li>・実習目的に適した実習施設、指導体制が取られている。</li> <li>・実習環境について指導者と連携し、密接な調整が行われている。</li> <li>・実習評価、指導が細かく丁寧に行われている。</li> <li>・歯科衛生士のニーズが多様になってきていることなどから、大きな改正がないまま行っている病院臨床実習内容については、再考する必要があると思われる。</li> </ul>
4. 就職支援の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な進路情報の提供と進路指導を行い、十分な求人確保が行われている。</li> <li>・卒業生の進路確認も継続して行われている。</li> <li>・就職支援に関しては求人数も多く、適切に行われている。</li> <li>・就職後1年間は就業状況を把握し、フォローできる体制が望まれる。</li> </ul>
5. 学生生活・保健管理の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任、保健師、カウンセラーを置き、学生生活全般について、相談、支援体制が取られている。</li> <li>・学生の安全対策、健康、疾病予防などの健康管理は、定期的に行われている。</li> <li>・事故、災害、感染等の緊急時対応について、文書化されていないが、対応マニュアルの整備を進めており、改善が見られる。</li> <li>・保護者とも必要に応じて連携を取り、問題の早期解決にあたっている。</li> <li>・学生のメンタルへの支援体制が確立されている。</li> <li>・災害に備えて、緊急時対応対策マニュアルの整備と、訓練の実施が望ましい。</li> </ul>
6. 管理・運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学籍簿等は適切に管理され、学院長以下、責任体制は明確化されている。</li> <li>・職員会、教員会が定期的開催され、情報の共有化、協力体制が取られている。</li> <li>・教職員は学外の研修に参加し、資質向上に取り組んでいる。</li> <li>・管理・運営については適切に行われ、問題はない。</li> </ul>
7. 教育環境の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設は適切に整備され、クーラー設置についても調整を図っている。</li> <li>・老朽化した実習設備、教材、視聴覚機器等の整備が検討されている。</li> <li>・学生の個別指導は適切に行われているが、常時使用できる場所を検討</li> </ul>

	<p>している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基準測定を毎年実施し指定基準を確保しているが、建物の老朽化により、授業を受ける快適な環境とは言い難く、改善が望まれる。</li> <li>・実習用ユニットの経年劣化により、実習の効率と学生の安全に問題が生じると思われる。</li> </ul>
8. 入学状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度は入学定員より、6人の定員割れとなったが、高校訪問、体験入学、進路ガイダンス等で、改善を図り、定員充足が望まれる。</li> <li>・指定校推薦において毎年、指定校を見直しする方針としており、適切な学校の選定が期待できる。</li> <li>・入学実績がある高校へ早期訪問を行い、退学者を減らすためにも、医療従事者になるための意欲をもった学生の確保が望まれる。</li> </ul>

以上